

2026 年度 天使大学大学院助産研究科  
助産基礎分野

一般選抜

「専門科目（母性看護学領域）」

試験日 : 2025 年 10 月 18 日(土)

時 間 : 9 : 30~10 : 30

答案作成上の注意

1. 問題紙は 2 枚です。
2. 解答用紙は 2 枚です。
3. 試験開始の合図のあとに問題紙、解答用紙が配られているか必ず確認してください。
4. 試験開始の合図のあとに解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
5. 解答は解答用紙に記入してください。
6. 問題紙・解答用紙とも回収します。

天使大学大学院

**問題 1** 以下の問 1 から問 13 の文章の ( ) に、適切な英数字あるいは文字を  
いれて文章を完成しなさい。

**\*ホルモンの名称は、アルファベット略語での解答可とする。**

- 問 1 成熟卵胞に ( ① ) (ホルモン名) が作用して排卵が起きる。
- 問 2 A さん (22 歳、学生) の月経周期は、25~38 日、持続日数は 6~10 日である。今回の月経は 10 月 18 日に始まった。前回の月経開始日は 9 月 20 日なので、今回の A さんの月経周期は ( ② ) 日である。
- 問 3 機能性月経困難症の主な原因は ( ③ ) の過剰産生によるものである。
- 問 4 母体保護法に基づく厚生労働省事務次官通知において、人工妊娠中絶の実施が可能なのは、妊娠 ( ④ ) 週未満の場合である。
- 問 5 正期産期とは、妊娠 (⑤ 週 日) から妊娠 (⑥ 週 日) までの期間をいう。
- 問 6 胎盤の完成時期は、妊娠 ( ⑦ ) 週ごろである。
- 問 7 陣痛とは、規則的に ( ⑧ ) 分以内、あるいは 1 時間に ( ⑨ ) 回以上の、分娩にいたった痛みを伴う子宮収縮のことである。
- 問 8 A さん (30 歳、妊娠 39 週 2 日) の分娩経過は、  
3 時 00 分 陣痛開始、5 時 00 分 入院、15 時 00 分子宮口全開大、  
15 時 30 分 自然破水、16 時 00 分 児娩出 16 時 15 分 胎盤娩出、であった。  
A さんの分娩所要時間は (⑩ 時間 分) である。
- 問 9 出産後、子宮が妊娠前の大きさに戻るまでの期間は一般的に、産後 ( ⑪ ) 週間から ( ⑫ ) 週間である。
- 問 10 産褥早期の下肢の浮腫は、正常経過で起こる症状であるが、( ⑬ ) の発症リスクでもあるため、観察とケアが必要である。
- 問 11 産後 10 日ころまでにみられる一過性の情動障害を、( ⑭ ) という。
- 問 12 出生時体重が 3,180g であった新生児。生後 2 日目の体重は 2,960g であった。この新生児の生後 2 日目の体重減少率は、-( ⑮ ) %である (小数点第 1 位まで記載せよ)。
- 問 13 新生児は出生後、新生児出血性疾患の予防として、( ⑯ ) を内服する。

**問題2 以下の問いへの解答を、( ) 内番号のある解答欄に記入しなさい。**

- 問 14 妊娠期の女性に「レバー」の摂取を奨めない理由は何か (17)。
- 問 15 妊娠 10 週の健康な女性。非妊時の Body Mass Index (BMI) は 20 である。現時点で、非妊時よりも摂取量を増やした方が望ましいと思われる栄養素は何か (18)。
- 問 16 妊娠 39 週の妊婦。妊婦健康診査でノンストレステスト (NST) を実施するため、レオポルド触診に続いて、胎児心音最良聴取部位を探していたところ、「気持ちが悪くなってきました。」と訴えがあった。最も優先する対応は何か (19)。
- 問 17 乳汁分泌 (生成) 作用のあるホルモンは何か (20)。
- 問 18 在胎 39 週 6 日、正常分娩で出生した女児。出生時体重 3,200g、身長 50.5cm、直腸温 37.3℃、呼吸数 72 回/分、心拍数 150 回/分。排尿あり。排便なし。児の状態、正常から逸脱しているのはどれか (21)。
- 問 19 産後 1 日目、「尿意がよく分からない。」という A さん。改善に向けて、最も適切と思われる助言は何か (22)。
- 問 20 吸引分娩で出生した新生児。出生直後の観察で頭血腫が確認された。新生児期の生理的経過の中で、最も注意すべき現象は何か (23)。
- 問 21 新生児の先天性代謝異常マススクリーニングは、生後 4～6 日に実施される。その理由を記述せよ (24)。
- 問 22 妊娠糖尿病合併産婦から出生した新生児は、低血糖に陥るリスクがある。その理由を記述せよ (25)。

以上